

2026年 プルーン病虫害防除暦

JA中野市園芸課

\* スモモヒメシンクイの発生園は、5月上旬にナシヒメコン(10a 当り100本)を設置する。尚、グランドプライズ以降の品種では7月上旬に再度設置する。

散布時期		散布薬剤(水 100ℓ当り)		収穫前 使用時期	使用回数 (以内)	散布量 ℓ/10a	対象病虫害 (発生病虫害)	注 意 事 項
月 日	3月下旬 発芽前	(水98ℓ) ① トレノックスフロアブル スプレーオイル	200mℓ 2ℓ	14日前 発芽前	3回 ー	300	ふくろみ病 (胴枯病) カイガラムシ類	①【代替】トレノックスフロアブルに代えて、石灰硫黄 合剤 10 倍(発芽前)を使用してもよい。 * 石灰硫黄合剤は隣接するハウスビニールに飛 散しないようにする。 ②【カイガラムシ類対策】 アプロードフロアブル 1,000 倍(14 日前、2 回)を加用する。
月 日	落花直後	② 展着剤(ハイテンパワー) スコア顆粒水和剤	10mℓ 33g	前日	2回	400	灰星病	①【コスカシバ対策】 フェニックスフロアブルの200倍(開花期まで、1 回・10aあた り 5～200ℓ)を樹幹部及び主枝に散布する。 ②【ケムシ類対策】 サムコフロアブル10の 2,500 倍(3 日 前、3 回)を加用する。
月 日	5月中下旬 (前回より14日後)	③ 展着剤(ハイテンパワー) アーデントフロアブル アグレプト水和剤	10mℓ 50mℓ 100g	前日 30日前	3回 2回	400	黒斑病 かいよう病 ハダニ類 シンクイムシ類	
月 日	6月上旬 (前回より14日後)	④ 展着剤(ハイテンパワー) モスピラン顆粒水溶剤 ベルクートフロアブル	10mℓ 50g 50mℓ	前日 3日前	3回 3回	500	灰星病 アブラムシ類 シンクイムシ類 (ハマキムシ類)	①摘果果実は、腐敗病の伝染源になりやすいので 土中深く埋めるか、園外へ除去する。
月 日	6月中下旬 (前回より14日後)	⑤ 展着剤(ハイテンパワー) フrintフロアブル25 バイスロイドEW	10mℓ 50mℓ 33mℓ	前日 14日前	2回 2回	500	灰星病 炭疽病 アブラムシ類 (シンクイムシ類)	
月 日	7月上旬 (前回より14日後)	⑥ 展着剤(ハイテンパワー) パレード 15 フロアブル ダイアジノン水和剤 34	10mℓ 50mℓ 100g	前日 21日前	2回 2回	500	灰星病 (炭疽病) シンクイムシ類	①【ナミハダニ対策】 ダニコングフロアブルの 2,000 倍 (前日、1 回)を加用する。
月 日	7月中旬 (前回より10日後)	⑦ 展着剤(ハイテンパワー) ベルクートフロアブル エクシレルSE	10mℓ 50mℓ 40mℓ	3日前 前日	3回 3回	500	灰星病 (すす点病) シンクイムシ類 ケムシ類	
月 日	7月下旬 (前回より10日後)	⑧ オンリーワンフロアブル イカズチ WDG	50mℓ 66g	前日 前日	3回 2回	500	灰星病 シンクイムシ類 (ケムシ類)	①今回以降、果粉(ブルーム)溶脱防止及び果実汚染 防止のため展着剤は使用しない。
月 日	8月上旬 (前回より10日後)	⑨ フrintフロアブル 25 バリアード顆粒水和剤	50mℓ 50g	前日 前日	2回 2回	500	灰星病、(すす点病) (シンクイムシ類) アブラムシ類	①【ハダニ類対策】 カネマイトフロアブルの 1,000 倍 (3日前、1 回)を加用する。
月 日	8月中旬 (前回より10日後)	⑩ パレード 15 フロアブル アーデントフロアブル	50mℓ 50mℓ	前日 前日	2回 3回	500	灰星病 ハダニ類 シンクイムシ類	
月 日	8月下旬 (前回より10日後)	⑪ オンリーワンフロアブル エクシレルSE	50mℓ 40mℓ	前日 前日	3回 3回	500	灰星病 シンクイムシ類 ケムシ類	①【晩生種 灰星病・シンクイムシ類対策】 9月上旬にオーシャインフロアブルの 3000 倍(前 日、3回)とモスピラン顆粒水溶剤の 2,000 倍(前 日、3回)を特別散布する。
月 日	収穫後 2～3回 の防除	⑫・⑬ ICボルドー412	3.3kg	ー	ー	400	黒斑病 かいよう病	①ボルドー液は他作物に飛散しないようにする。 ②【黒斑病対策】 展着剤アビオンーEの 2,000 倍を加用する。
月 日	【特別散布】 落葉後 (11月下旬)	(水 88ℓ) スプレーオイル 石灰硫黄合剤	2ℓ 10ℓ	発芽前 発芽前	ー ー	300	(ふくろみ病) カイガラムシ類	①落葉前に散布すると薬害の発生に繋がるため落 葉 後に散布する。 ②発芽前の防除が積雪の影響で困難な園地は散 布 死角ができないように散布する。

◆混用例：展着剤⇒液剤⇒乳剤⇒顆粒水溶剤⇒水溶剤⇒フロアブル⇒ドライフロアブル(DF)⇒顆粒水和剤(WDG)⇒水和剤

【安心・安全な農産物生産のために使用基準を厳守しましょう】\* 当防除暦の複製・コピーを禁止します。